

琉球・沖縄 年中行事 **Q&A**

2人の母を一緒に納骨することは可能でしょうか？



●Answer  
 沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職  
 帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

**Q** 父は、結婚を2回して、私は、先妻の母の子です。幸いにも、後妻の母が、私をわが子同然に育ててくれました。3人も、すでに亡くなり、三十三回忌も終わっています。親戚の方から「最初の奥さんと次の奥さんと同じ墓に納骨すると、グソーで大ゲンカになるよ」といわれ、後妻の母は、今も一人ぼっちの仮墓です。年内に、墓の修理を行います。恩のある方です。みんなと同じように納骨できないでしょうか？

(那覇市・Nさん)

**A** 今年、ユンチチ(閩月)ですので、みなさんの納骨が可能となる最高のタイミングです。納骨について、詳しくご説明させていただきます。

**【死亡順と続柄順】**  
 沖縄の納骨には、死亡順と続柄順の考え方があります。死亡順とは、亡くなられた順番に納骨する方法のことをいいます。ミイボトケ(新仏)という最後に亡くなられた故人さまを、シルヒラシ(汁減らし)というお墓の中の最下段にウンチケー(御案内)して、ウジョパン(御門番)という門番を依頼する納骨が、この死亡順の代表的なものです。

続柄順とは、家族の続柄の順番に納骨する方法のことをいいます。タチクチ(立口)という初代の男性をお墓の中の最上段にウンチケーして、その方を中心に、妻を左に子を下と、家族構成をイメージして配置する納骨が、この続柄順の代表的なものです。

沖縄の納骨は、一般的に、死亡順から続柄順にフニシン(遺骨)・カーミー(骨つば)をウンチケーする慣習があり、最終的には家系図を表現することになります。

今回のケースでは、三十三回忌も終えられていますので、お墓を修理した後の納骨は、死亡順より続柄順の判断となります。

**【夫婦の納骨】**  
 続柄順の夫婦の納骨は、一般的に、夫をグソーヌヒジヤイ(後生の左上座)という正面に向かって右側に、妻をグソーヌニジヤイ(後生の右下座)という正面に向かって左側に、双方を中央で肩並びにウンチケーする考え方があります。夫が2回、結婚している夫婦の納骨は、その応用として、夫を中央に、先妻をグソーヌヒジヤイに、後妻をグソーヌニジヤイにウンチケーする考え方があります。

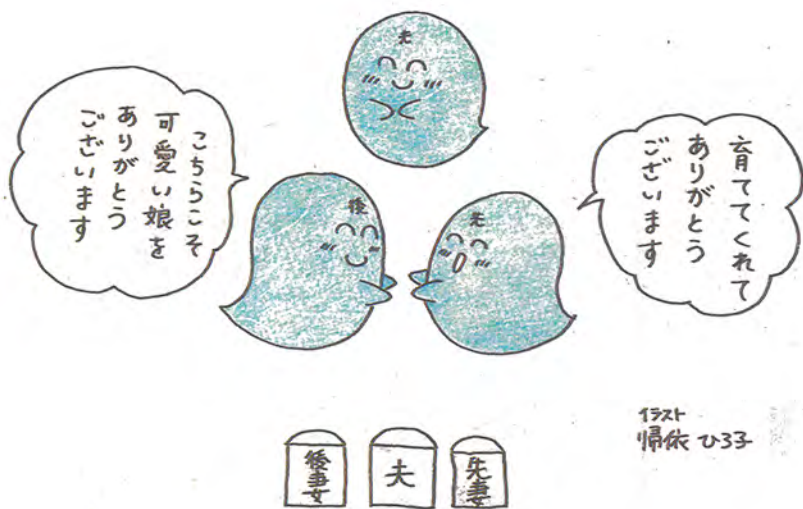
母さまをお父さまの右側に、後妻のお母さまをお父さまの左側に納骨されてはいいか？でしょうか？グソーでの大ゲンカですか？双方のお母さまの中央に、お父さまがおられますので、円満であると感じて安心ください。

して詠んだ句であると記憶しています。その遺髪は白髪にて、母親の苦勞に感謝しつつ、涙したとあります。

お墓の修理の後の納骨では、沖縄のしきたりのシンクチをおこなわれるかもしれませんが、お父さま・お母さまたちのチユブルブニ(頭蓋骨)に、手をかざすとき、その苦勞をしのびながら、感謝の気持ちを包まれることでしょうか。

**【洗骨は感謝の表れ】**  
 昔、松尾芭蕉の『手に取らば 消えん涙ぞ あつき秋の霜』という俳句を拝見したことがあります。パシヨウが、故郷の伊賀上野に帰省したとき、最期をみとることができなかつた母親の遺髪を手に

親孝行のご質問に、かふうの紙面を選んでくださり、ありがとうございます。



1921 帰依 ひ33

**【質問をお寄せください】** 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。